


北海道北海道乳幼児療育研究会 第37回研究大会 2023.10.15 (日)

「コロナ禍3年間の取り組みと コロナ後の新たな取り組みについて」

足寄町役場福祉課 あしよろ子どもセンター

子育て支援センター/児童発達支援センター/保育所等訪問支援事業所

主査 細谷 優子



2



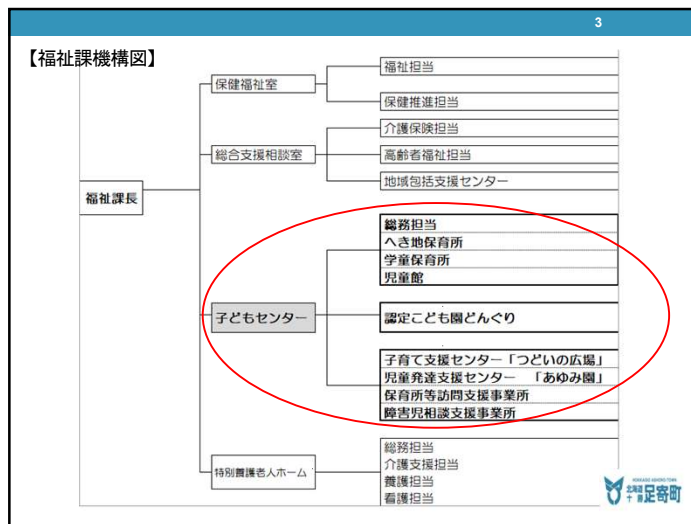
北海道・十勝
HOKKAIDO TOKACHI


足寄町
ASHORO-TOWN

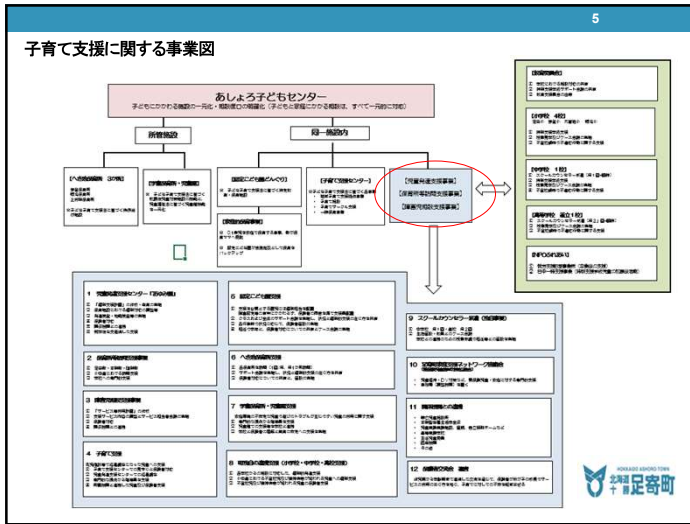
人口 6,225人 世帯数 3,326

児童発達支援事業所	1
認定こども園	1
小学校	4 (うち、へき地小3)
中学校	1
道立高校	1
地域保育所(へき地保育所)	3

(2023.9月末現在)

- 4
- ### 【あしよろ子どもセンターが所管する施設・事業】
- 1 認定こども園どんぐり
 - 2 **子育て支援センター**
 - 3 **児童発達支援センター あゆみ園**
 - 4 **保育所等訪問支援事業**
 - 5 **障害児相談支援事業所**
 - 6 地域保育所(へき地保育所3か所)
 - 7 家庭的保育事業(保育ママ)
 - 8 児童館・学童保育所
 - 9 病児・病後児保育事業(体調不良児対応型・休止中)
- 



【足寄町の基本理念】

- ① 「子どもセンターは、子どもに関する相談を集約し、相談機能の中核として位置づける」
- ② 町で対応可能なことは、出来る限りを尽くす
- ③ 小中高校・関係機関とこまやかな連携を図り、すみやかに対応する

↓

「福祉」「教育」「地域」の連携

コロナ禍 3年間の振り返りと気づき

(1) 事業所運営と感染対策

- ① 通園できるよう調整
 - ・ 保護者へ、子どもセンターや事業所の状況を随時お伝えする
 - ・ 通園できるよう、不安を取り除きながら働きかける
- ② 衛生行動ができにくい児童の対応
 - ・ 手洗いマスク咳エチケット「できることをできるだけ」
 - ・ みんな手探り、アイデアを出しながら対応
- ③ スタッフの感染予防と対応策
 - ・ センターとしての方針などを細かく共有する
 - ・ 感染者が出た場合の対応をシミュレーションする


9

(2) 保護者ニーズの再確認

- ① 制限下の生活を見守る
 - ・ 外出自粛中、子どもの過ごし方や様子を確認する
 - ・ 環境変化や今までと違うことによる、子どもの反応やストレスを想像する
 - ・ 家庭の様子や保護者の気持ちの変化に寄り添う
- ② 保護者と家族の「大変さ」を支える
 - ・ きょうだい、家族、健康問題、経済的事情など
 - ・ 心配なこと負担になっていることを話せる関係に

↓

「本音」を言いにくい社会情勢の中、保護者ニーズを大切に




10

(3) 関係機関との連携

- ① 生活状況と環境の変化をアセスメント
 - ・ 外出自粛、一斉休校で生じたこと、明らかになった課題
 - ・ 生活の変化に伴う心理的变化を想定する
- ② 「できる」ための見直し
 - ・ 学校訪問やSC面談を工夫しながら実施
 - ・ 行事の実施と方法内容の見直し
 - ・ 中止や延期ではなく、どの範囲なら実施できるかを検討

↓

日々の変化の中で、「共有」と「共感」を大切に




11

コロナ後の新たな取り組み

12

(1) 話すこと・関わる機会をより大切にすること


- ① 保護者交流会の開催
 - ・ 児童発達支援センター利用児童保護者の「茶話会」1回/月
 - ・ 通園児に係わらず、療育相談や個別支援などに関する保護者にも案内
 - ・ 発達支援アドバイザーやスタッフと保護者との交流
- ② スタッフ同士のコミュニケーション
 - ・ サービス担当者会議を大切に、より丁寧に運営する
 - ・ 日常的に子どもの様子や発達を共有する
 - ・ 茶話会の保護者の様子やニーズを共有する



13

(2) 面談や対応をアウトリーチ化

- ① コロナ禍に生まれた子どもとその保護者
 - ・ 限られた機会と場所でしか顔を合わせられなかった
 - ・ 他の保護者と交流しにくかった
 - ・ 健診や医療機関等でも個別対応など、孤立感があった
- ② 乳幼児家庭訪問に同伴
 - ・ 主体は保護者、きっかけづくりはこちらから
 - ・ 「子育て支援センター紹介」として出向く
 - ・ 「相談に行く」は敷居が高い、自然な形でつながること話すこと




14

(3) 子育て支援センターの活動を広げる

- ① 子育て支援センターのイベントや企画
 - ・ 夏祭りやハロウィンなど季節イベントを開催
 - ・ 毎月の制作やお楽しみ企画を実施
 - ・ LINEでイベント予告やイベントの様子を配信
- ② こども園開放とコラボ企画
 - ・ 入園前の保護者を対象にこども園の見学とイベントを実施
 - ・ 子育て支援センターのスタッフがいることで顔がわかる安心感

↓

保護者が安心して楽しく子育てできる環境づくり



15

(4) 関係者・関係機関との「共通認識」をより丁寧に

- ① 発達支援アドバイザー事業の開始
 - ・ 発達支援に関する専門家をスーパーバイザーとして依頼
 - ・ 子どもセンターほか関係機関とのサポート会議すべてに出席し助言をもらう
- ② 子育て世代包括支援センター会議の定例化
 - ・ 保健師、障害福祉担当、子どもセンターの担当者
 - ・ 要保護児童対策協議会のケース会議を含む
 - ・ 対応の方針を協議し、確認していく
- ③ 地域内外の資源の強化と活用
 - ・ 町外や管外へ行けない中、自治体の対応が中心となった
 - ・ 要対協調整担当者を増やし、虐待や難しいケースの対応力の資質向上を図る
 - ・ 警察や医療機関と連絡調整をしながら、幅広い対応ができるよう協働する

16

終わりに・・・「つながり」つづけるために

「連携」は、仲間になることから

- ・ 関係機関、人、それぞれの**立場・役割を尊重**すること
- ・ 専門性に応じてケースを**見立て・分担**し合うこと
- ・ **協力しあう**こと、渡して終りではない
- ・ 保護者の**安心感・負担軽減**が大切

↓

**あらゆる分野の視点を持ち、
他職種の「専門性」と「実効性」につなぐ「柔軟性」を**

